

生涯学習「西柴」

散策の報告

12月7日（火）、大貫先生のご案内で「極楽寺・長谷の史跡めぐり」に出かけました。

少し雨模様でお天気が心配でしたが、風はなく初冬の極楽寺界限を歩きました。
参加者は20名でした。

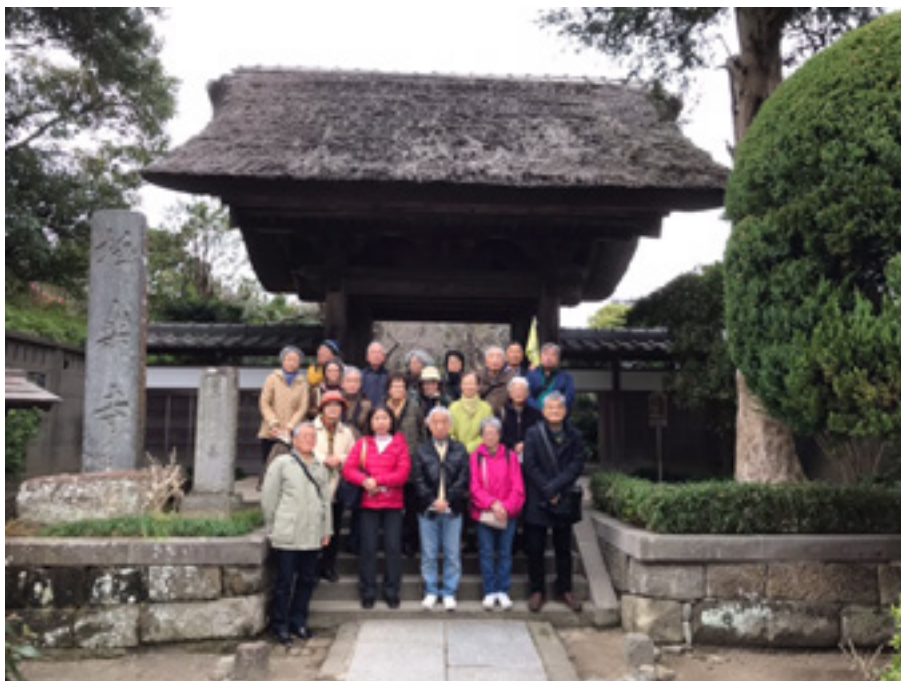


（写真は長谷寺）



＜江ノ電の駅名にもなっている極楽寺の門前＞

極楽寺は、金沢稱名寺と同じ数少ない真言律宗のお寺です。慈善救済に努め、土木事業にも力を注いだ開山忍性の足跡をうかがいました。



＜極楽寺の小さな鄙びた茅葺の山門＞

かつては49院、600もの堂塔が建ち並ぶ大寺院でしたが、今はただ1つの吉祥院が本堂となり残っているだけの寺にふさわしい山門です。



<国指定史跡 伝上杉憲方墓>

人家の間の細い路地の先にある、極楽寺子院、西方寺跡。

室町幕府の関東管領であった上杉憲方の墓といわれる七層塔と五輪塔の説明を受けました



長谷寺の阿弥陀堂では、源頼朝 42 歳の厄除けのために造立された、280

cmの ^{じょうほんじょうしょう}上品上生 印を結ぶ阿弥陀如

来像（別名厄除阿弥陀）

を拝観しました

<長谷寺の阿弥陀堂前>



＜長谷寺の山門＞

コロナ禍でお出かけがなかなか難しかったなか、思わぬ「紅葉狩り」ができた
皆さん大喜びでした。